



西山富三郎 議員

差別をなくすメッセージは

町長

様々な取り組みで啓発している



楽しく学ぶ人権教育

〔西山〕森田前町長二期目の選挙の時、部落差別を悪用した差別ハガキ事件が発生した。「全ての町民が幸福を求め、平和で豊かに暮らせる人権尊重のまちづくり推進のメッセージ」を作成した。生かされているか。

〔町長〕差別ハガキ事件だけでなく、身元調査や戸籍の不正取得、土地差別調査、インターネットでの差別情報、報の氾濫、民族排外主義を扇動するヘイトスピーチなどの事象が頻発している。さまざま

な手法で人権意識の高揚をはかっている。

〔西山〕差別事象、差別表現への対応は。

〔町長〕発生した場合、は事象を明らかにし、町の対応方針に基づき、対策会議を開き、差別事象に学ぶ研修を行うなど課題解決に取り組んでいく。

〔西山〕人の痛みを知り人間になるとは。

〔教育長〕現地に学ぶというフィールドワークを行っている。行動できる力を養っている。

教育長

自然・歴史・文化の啓発は

野外観察や講演で話す

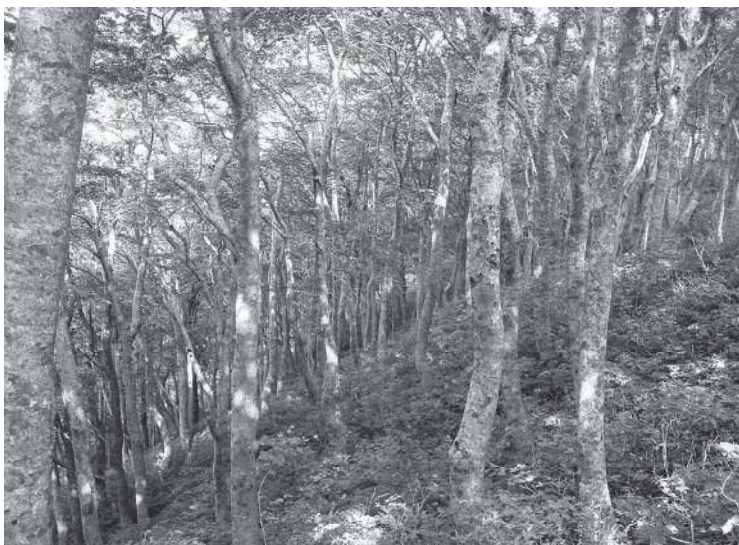
〔西山〕自然の仕組み、生き物同士、人とのつながりなど、自然を正しく伝える見方は。

〔教育長〕自然の見方とは、大山の魅力や自然の仕組み、人と自然との関わりという視点だと考える。

大山学講座、また高齢者学級、老人クラブをはじめ、各種団体の研修会、野外観察や講演の機会などで話をさせていただいている。

〔西山〕日々の暮らしの中で、自然の仕組み、自然保護を意識できるかを、どのように取り組んでいるか。

〔教育長〕昔の人々は、自然に畏敬の念を抱き、自然を敬い、自然に対して感謝の念を持って生きてきた。



いつまでも残したい大切な自然

自然を大切に、むやみに開発することはなかったため、自然災害も今ほど多くなかった。

人と自然が共存して

いく意識と方策を持って生活していくことの大切さを学び、それを実践することが大切だと思う。